

第 3 章 指導行政

第3章 指導行政

第1節 教科書の採択・無償給与

1 教科書の採択

(1) 小学校の教科書

令和5年度使用の教科書は、令和元年度に採択替えされた。

令和5年度小学校用教科書発行者状況（令和2年度～令和5年度使用）

採択地区 種目	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山	竹富
国語	教出	光村	光村	東書	東書	教出	光村
書写	教出	光村	教出	光村	光村	教出	光村
社会	教出	教出	教出	教出	教出	教出	東書
地図	帝国						
算数	東書	学図	啓林館	東書	東書	東書	東書
理科	啓林館	東書	東書	教出	啓林館	教出	学図
生活	啓林館	教出	学図	教出	日文	大日本	日文
音楽	教出	教芸	教芸	教出	教芸	教芸	教芸
図画工作	日文	日文	日文	日文	日文	開隆堂	開隆堂
家庭	開隆堂	開隆堂	東書	開隆堂	東書	開隆堂	開隆堂
保健	光文	光文	東書	光文	東書	東書	学研
英語	教出	教出	啓林館	光村	東書	開隆堂	光村
道徳	日文	光文	学研	東書	光文	日文	日文

(2) 中学校の教科書

令和5年度使用の教科書は、令和2年度に採択替えされた。

令和5年度中学校用教科書発行者状況（令和3年度～令和6年度使用）

採択地区 種目	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山	竹富	与勝 緑が丘	球陽	開邦	桜
国語	三省堂	三省堂	光村	光村	東書	東書	東書	三省堂	三省堂	光村	三省堂
書写	教出	東書	東書	東書	東書	教出	東書	東書	東書	光村	教出
社会(地理)	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国
社会(歴史)	東書	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国
社会(公民)	東書	帝国	東書	東書	帝国	育鵬社	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国
地図	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国
数学	啓林館	東書	東書	東書	東書	東書	教出	数研	数研	大日本	数研
理科	啓林館	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	啓林館	啓林館
音楽(一般)	教出	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教出
音楽(楽器)	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教出	教芸	教芸	教芸	教芸
美術	日文	光村	日文	日文	光村	日文	日文	日文	光村	開隆堂	日文
保健体育	学研	東書	学研	東書	学研	学研	学研	東書	東書	大修館	学研
技術	教図	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	開隆堂	教図
家庭	教図	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	開隆堂	開隆堂
英語	光村	光村	教出	開隆堂	光村	開隆堂	三省堂	光村	光村	三省堂	光村
道徳	光村	日文	日文	日文	光村	日文	日文	東書	日文	光村	光村

学校教育法附則第9条の規定による一般図書の採択

令和5年度使用の公立小・中学校の特別支援学級及び特別支援学校用教科書として採択された一般図書は次のとおりである。

(国語)

発行者	図書名
偕成社	エリック・カールの絵本はらぺこあおむし
グランまま社	つちだよしはるの絵本ことばえほん
好学好社	レオ・レオニの絵本スイミーちいさなかしこいさかなのはなし
戸田デザイン研究室	あいうえおえほん
戸田デザイン研究室	カタカナ絵本
同成社	「ゆっくり学ぶ子のためのこくご入門編(ひらがなの読み書き)」
同成社	ゆっくり学ぶ子のためのこくご1ひらがなのことば・文・文章の読み
同成社	ゆっくり学ぶ子のためのこくご2かたかな・かん字の読み書き
同成社	ゆっくり学ぶ子のためのこくご3文章を読む、作文・詩を書く
同成社	ゆっくり学ぶ子のための こくご入門編1 改訂版 表象形成・音韻形成・発声・発音
こぐま社	柳原良平「やさいだいすき」
文研出版	谷川俊太郎・元永定正「もこもこもこ」
ブロンズ新社	かがくいひろし「だるまさんの」
ひさかたチャイルド	「おーいかばくん」
ブロンズ新社	だるまさんが
講談社	りんごがコロコロ コロリンコ
こぐま社	こぐまちゃんおはよう
福音館書店	おおきなかぶ
東京書店	にほんごえいご おしゃべりタブレットえほん

(書写)

点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学1年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学2年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学3年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学4年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学5年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(教育用漢字小学6年)墨字版
点字学習を支援する会	視覚障害者の漢字学習(常用漢字中学校編)墨字版

(社会)

発行者	図書名
偕成社	木村裕一しかけ絵本12げんきにごあいさつ
学研	はっけんずかんのりもの(改訂版)
帝国書院	「みんなの地図帳～見やすい・使いやすい～」
三省堂	「こどもマナーとけいご絵じてん小型版」
小学館	ドラえもんちずかん2せかいちず
JamHouse	「最新版親子で学ぶインターネットの安全ルール小学生・中学生編」
日本教育研究出版	ひとりだちするためのトラブル対策予防・回避・対処が学べる
ひかりのくに	マナーやルールがどんどんわかる!新装改訂版みぢかなマーク
日本教育研究出版	ひとりだちするための社会

編集工房 東洋企画	日本復帰 50 周年 今 昔 未来 沖縄のこと考えてみませんか！ 大人のためのウチナー総合学習書
朝日新聞出版	12 歳までに身につけたい社会と法の超きほん
朝日新聞出版	クイズでわかる生き残り大作戦！防災のサバイバル
ジャムハウス	ガチャピン・ムックといっしょに作って学ぶはじめての防災

(算数・数学)

発行者	図書名
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1(量概念の基礎、比較、なかま集め)
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2(1対1対応、1～5の数、5までのたし算)
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3(6～9のたし算、ひき算、位取り)
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4(くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算)
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5(3けたの数の計算、かけ算、わり算)
ひさかたチャイルド	わらべきみかのスキンシップ絵本5かずのえほん
偕成社	(エリックカールの絵本)かずのほん1、2、3どうぶつえんへ
小学館	21世紀幼稚園百科かずあそび1・2・3
東洋館出版社	くらしに役立つ数学
小学館	ドラえもんとおぼえよう！とけいのえほん
日本教育研究出版	ひとりだちするための算数・数学

(理科)

発行者	図書名
ひかりのくに	改訂新版体験を広げるこどものずかん1どうぶつえん
沖縄時事出版	新理科資料 おきなわの理科3年
ひかりのくに	改訂新版体験を広げるこどものずかん8あそびのずかん
沖縄時事出版	新理科資料 沖縄の理科4年
東洋館出版社	くらしに役立つ理科
パイインターナショナル	はじめてのほしぞらえほん
パイインターナショナル	はじめてのうちゅうえほん
沖縄時事出版	新理科資料 沖縄の理科5年
小学館	小学館の図鑑 NEO 科学の実験
成美堂出版	イラストでわかる 人体じてん
パイインターナショナル	はじめてのてんきえほん

(音楽)

発行者	図書名
新星出版社	頭のいい子が育つクラシックの名曲45選
くもん出版	CD付き楽器カード
ひかりのくに	どうようおえかきできる どうよう NEW 絵かきうたブック
サーベル社	おんぷのおえかきワークブック3(えかきうたつき)
朝日新聞出版	うたおう♪はなそう！おうた&ことばタブレット
音楽センター	手話でうたうこどものうたベスト
教育芸術社	5訂版歌はともだち
成美堂出版	音と光のでる絵本いっぱいスイッチ

音楽センター	運動会ダンスソングベスト NEW キッズエイサーDVD&CDブック
--------	-----------------------------------

(図工・美術)

発行者	図書名
ブロンズ新社	らくがき絵本五味太郎50%
ブロンズ新社	五味太郎(著)らくがきえほん PART2 五味太郎 25 パーセント
戸田デザイン研究所	6つの色
学研	あそびのおうさまBOOKぬって
学研	あそびのおうさまBOOKはって
岩崎書店	あそびの絵本 6ねんどあそび
小学館	ひらめき美術館(第1館)
小学館	ひらめき美術館(第2館)
小学館	ひらめき美術館(第3館)
大日本図書	いろいろバス
NHK出版	ノージーのひらめき工房工作レッツ工作ピクニック
グラフィック社	アートであそぼうおえかきレッスンわくわくワーク
東京書籍	ブルック・ディジョバニ・エバンス/笥菜奈子訳みつけて!アートたんてい よくみて、さがして、まなぼう
保育社	中島祐司(訳)アートって何だろうはじめてアートに出会う本
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと 34 図工が楽しくなる

(体育・保健)

発行者	図書名
偕成社	できるかな?あたまからつまさきまで
金の星社	やさしいからだのえほん4むしばはどうしてできるの?
偕成社	おきがえあそび
偕成社	ひとりでうんちできるかな
金の星社	ちびまるこちゃんのあんぜんえほん ほらあぶないよ!けが・やけど
ひかりのくに	ひとのからだ
少年写真新聞社	大切なからだ・こころ
童心社	おおきくなるっていうことは
エイデル研究所	あっ!そうなんだ!性と生 幼児・小学生そしておとなへ
朝日新聞出版	たのしいうんどう
三省堂編集所	こどもスポーツ絵じてん
福音館書店	ペンぎんたいそう
福音館書店	きゅうきゅうばこ
エイデル研究所	あっ!そうなんだ!わたしのからだ
世界文化社	あらいくん(ユーモアせいかつ絵本・てあらい)
世界文化社	からだのふしぎ けがとびょうきのナゾ
講談社	発達が気になる子の性の話 みんなでいっしょに学びたい
大泉書店	だいじ だいじ どーこだ?

(職業・家庭)

発行者	図書名
国土社	ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑①家庭生活編
金の星社	たべるのだいすきみんなげんき
ひかりのくに	たべもの202
開隆堂出版	「楽しい家庭科」わたしのくらしに生かす
東洋館出版社	くらしに役立つ家庭

白泉社	たべものやさんしりとりたいかいさいします
小学館	おいしいな！
ブロンズ新社	しごとば
日本教育研究出版	ひとりだちするための進路学習
開隆堂出版	「楽しい職業科」わたしの夢につながる
ブロンズ新社	続 しごとば
全障研出版部	くらしの手帳 おとなとしてゆたかに生きるために
(株)ブロンズ新社	続々 しごとば
岩崎書店	一人前になるための家事の図鑑
ジアース教育新社	新・見てわかるビジネスマナー集
日本教育研究出版	ひとりだちするためのライフキャリア教育
福音館	かがみのえほん きょうのおやつは
小学館	まどあけずかん たべもの:英語つき
小学館	まどあけずかん せかいのりょうり

(外国語)

発行者	図書名
成美堂出版	絵で学ぶ小学生の英語レッスン(CDつき)
朝日新聞出版	音でる♪知育絵本あいうえおABCタブレット
mpi	子供のための英語で自己表現ワーク1
mpi	子供のための英語で自己表現ワーク2
mpi	TheVeryHungryCaterpillarCD付絵本
数研出版	小学英語の基礎を固める「学ぼう！英語」単語・発音・アルファベット
金の星社	ABCのえほん
小学館	『ドラえもんはじめての英語ドリル』(CD付)基本の英語表現
小学館	『ドラえもんはじめての英会話辞典』(タッチペン付)基本の英語表現
コスミック出版	えいごにほんごどうようえほん
ベネッセコーポレーション	しまじろうのえいごのうた
講談社	おしゃべりタッチペンつき！にほんご えいご はじめてのずかん 900

(道徳)

発行者	図書名
(株)少年写真新聞社	きもち
小学館	マンガでわかるよのなかのルール
偕成社	ノタンぶらんこのせて
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと2友だち関係～自分と仲良く～
BL出版	わにくんのおおきなあし
偕成社	ありがとうのえほん
鈴木出版	新・10歳からのルール100①友達・学校のルール
日本図書センター	高濱正伸『おやくそくえほん:はじめての「よのなかルールブック」』
金の星社	WILL こども知育研究所みんなのきもちがわかるかな?おもいやりの絵本
廣済堂あかつき	みずやりとうばん
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと⑥ 友だち関係～気持ちの伝え方～

永岡書店	ポップアップ絵本カラーモンスターきもちはなにいろ？
評論社	ねえどれがいい
偕成社	ぼちぼちいこか
金の星社	どこからきたの？おべんとう

2 教科書の無償給与

令和5年度も、小学生・中学生・特別支援学校（小学部・中学部）の児童生徒に対し、教科用図書は無償給与が行われた。

その状況は、次のとおりである。

<令和5年度教科書の給与を受けた児童・生徒数>

(1) 小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国立・私立・公立	16,393	16,977	16,493	16,945	16,802	16,862
県立特別支援学校 (小学部)	151	149	122	162	142	154

(2) 中学校

	1年	2年	3年
国立・県立・私立・公立	17,075	16,633	16,776
県立特別支援学校 (中学部)	198	154	173

第2節 県立高等学校入学者選抜

1 令和6年度県立高等学校入学者選抜の実施結果

(1) 主な日程

令和6年1月15日・16日	推薦入学願書受付
1月30日	推薦入学選抜結果の通知期限
2月7日・8日	一般入学・特別募集（定時制課程）願書受付
2月20日・21日	志願変更（願書取り下げ・再出願）
3月6日・7日	学力検査
3月14日	一般合格発表（推薦入学、一般入学、特別募集）
3月15日・18日	第2次募集願書受付
3月19日	第2次募集志願変更・再出願
3月27日	第2次募集合格発表

(2) 募集定員

全日制	定時制	計	前年度増減
14,360	400	14,760	△40

増減の△は減を表す。

(3) 推薦入学等について

令和6年度県立高等学校入学者選抜実施要項に基づき、推薦入学は全学科において実施した。

また、県立本部、久米島高等学校において連携型入学者選抜を実施し、定員200人に対して、91人が志願し、68人が合格した。県立与勝、球陽、開邦高等学校においては、与勝緑が丘中、球陽中、開邦中学校からの併設型中高一貫教育を実施しており、定員240人に対して212人が志願し、212人が進学決定した。

(推薦入学実施結果)

	全日制	定時制	計
定員	3,770	104	3,874
志願者数	3,897	0	3,897
合格者数	2,451	0	2,451

(4) 学力検査等について

学力検査は県立学校及び離島出張検査場で実施し、学力検査教科は国語、理科、英語（聞き取り検査あり）、社会、数学の5教科である。配点は、各教科60点、総合点は300点である。合格者の最高点は286点（前年度284点）であり、受検者の平均点は144.6点（前年度159.9点）であった。

(5) 第2次募集について

定員割れの学科において第2次募集を実施した。定員1,939人に対し、803人の応募があり、志願倍率は0.41倍であった。また、第2次募集による合格者は716人であった。

(6) 実施結果（最終）について※追検査・追検査第2次募集合格者27人を含む

	全日制	定時制	計	前年度増減
合格者数（辞退者を除く）	13,320	246	13,566	△1

2 令和6年度県立高等学校入学者選抜状況（令和5年度実施）

全日制課程

学 科	募集 定員	連携・併設型		推薦入学		一般入学			第2次募集			追検査合格 (2次含む)	合格者 総数
		定員	合格者	定員	合格者	定員	志願者	合格者	定員	志願者	合格者		
普通科	8,240	130	117	1,880	1,474	6,649	6,628	5,962	688	320	286	14	7,853
農業科	880	18	8	260	72	800	726	632	168	66	43	3	758
工業科	1,600			482	143	1,457	1,169	1,089	368	121	111	1	1,344
商業科	1,400			446	223	1,177	1,013	943	234	143	131	5	1,302
水産科	120			36	22	98	79	69	29	2	2	0	93
家庭科	200			60	33	167	146	120	47	12	11	0	164
情報科	120			36	28	92	110	89	3	2	2	0	119
福祉科	80			26	5	75	52	55	20	11	8	0	68
その他の 専門学科	1,120	155	155	354	366	599	596	530	70	25	23	2	1,076
総合学科	600			190	85	515	474	435	80	25	22	1	543
計	14,360	303	280	3,770	2,451	11,629	10,993	9,924	1,707	727	639	26	13,320

定時制課程

学 科	募集 定員	推薦入学		一般入学			特別募集(うち数)		第2次募集			追検査合格 (2次含む)	合格者 総数
		定員	合格者	定員	志願者	合格者	志願者	合格者	定員	志願者	合格者		
普通科	160	32	0	160	93	90	6	6	70	36	32	0	122
農業科	80	24	0	80	24	33	0	0	47	13	16	1	50
工業科	80	24	0	80	11	13	0	0	67	5	4	0	17
商業科	80	24	0	80	31	32	2	2	48	22	25	0	57
計	400	104	0	400	159	168	8	8	232	76	77	1	246

通信制課程

学 科	一般募集		
	募集定員	志願者	合格者
普通科	330	440	331

専攻科（全日制）

学 科	募集定員	推薦		一般		第2次募集	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
漁業科	10	1	0	13	10		
機関科	10	0	0	13	10		
無線通信課	15	2	0	3	3	10	2
計	35	3	0	29	23	10	2

3 高等学校等への進学率の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進学率	95.8%	96.4%	96.5%	96.9%	97.4%	97.3%	97.5%	97.7%	97.7%	97.5%

第 3 節 高等学校卒業程度認定試験 及び中学校卒業程度認定試験

1 高等学校卒業程度認定試験

(1) 試験日程等

第 1 回試験

8 月 3 日(木)・4 日(金)再試験(※)8 月 24 日(木)

沖縄県総合福祉センター

第 2 回試験

11 月 4 日(土)・5 日(日)

県立那覇商業高等学校

(2) 実施状況

(※台風 6 号の影響により、やむを得ず受験できなかった者が対象)

区 分	出願者	受験者	高卒認定合格者
沖縄県	288	254	76
全 国	19,191	16,813	7,932

2 就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定試験

(1) 試験日程等 10 月 19 日(木)

県教育庁会議室

(2) 実施状況

出願者	受験者	合格者	科目合格者
0	0	0	0

※科目合格者とは、受験した科目のうち一部の科目を合格した者

第4節 学力向上推進

1 現状

「全国学力・学習状況調査」の教科における調査（国・算、数）においては、小学校では全国平均正答率との差は-3.4ポイントで全国水準を維持、中学校では-6.9ポイントで緩やかな改善傾向が見られる。「児童生徒質問紙調査」では、学習に対する興味関心に関する質問、「将来の夢や目標を持っていますか」等の質問に肯定的に回答した児童生徒の割合が全国平均よりも高い傾向にある。また、高校進学率の改善、県立高等学校の国公立大学等への現役合格者の増加などがみられる。

2 事業実績

- (1) 学力向上推進本部会議の開催（年3回）
- (2) 沖縄県学力定着度調査（学びのたしかめ）、沖縄県学力到達度調査の実施と結果の分析・考察、まとめの活用促進
- (3) 沖縄県学校質問紙調査、沖縄県児童生徒質問紙調査の実施と結果の分析・考察、まとめの活用促進（学校評価への積極的活用を促す）
- (4) 市町村教育委員会学校支援連絡協議会の開催（年3回）
- (5) 学力向上推進室訪問の実施
令和5年度実績：小学校8校、中学校13校の計21校
- (6) 学校支援訪問
令和5年度実績：小学校45校、中学校31校の計76校
- (7) 秋田県研修派遣事業（中学校国語1名）

第5節 教育相談事業

1 令和5年度相談事業

総合教育センターでは事業の一つとして、児童生徒、保護者、教師などから学校不適応や不登校、学業不振や中途退学、いじめ等に関する教育相談を受けている。相談件数、内容等は次のとおりである。

1 令和5年度 教育相談件数 (令和6年3月31日現在)

相談対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学生未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	2	6	2	2	0	2	0	2	1	0	1	1	19
中学生	2	1	4	3	0	2	1	2	2	0	0	0	17
高校生	0	1	2	6	5	6	5	5	0	1	4	2	37
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
合計	4	8	8	11	5	10	6	9	5	1	5	3	75

2 令和5年度教育相談実施状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(1) 相談件数 (延べ数、実数)

相談対象	電話相談		来所相談		学校訪問		合計	
	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数
小学生未満	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	19	16	0	0	0	0	19	16
中学生	17	17	0	0	1	1	18	18
高校生	32	23	5	5	3	3	40	31
その他	2	2	0	0	0	0	2	2
合計	70	58	5	5	4	4	79	67

(2) 主訴別相談件数 (延べ数、実数)

相談対象	不登校		遊び・非行		性格・行動		学校・生活		いじめ		左記以外の教育相談		合計	
	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数
小学生未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	17	14	0	0	2	2	2	2	0	0	1	1	22	19
中学生	18	17	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	21	21
高校生	30	15	0	0	1	1	2	2	1	1	3	3	37	23
上記以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
計	65	48	0	0	4	4	5	5	1	1	7	7	82	65

3 親子電話相談

家庭教育に関する悩みや不安を抱く保護者、友人関係で悩む子ども等への支援として電話相談を行っている。

<令和5年度「親子電話相談」によせられた内容・件数等>

(1) 月ごとの相談受案件数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	178	169	163	176	182	189	184	150	141	177	161	163	2,033

(2) 令和5年度内容別受案件数

内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数
基本的な生活習慣	1	対人関係	14	虐待	1
子育て不安	53	異性・性	17	自殺	1
不登校・登園拒否	19	学業・進路	23	留守電	0
学校生活・園生活	81	家庭問題	108	無言	829
問題行動	11	経済問題	1	その他	87
いじめ	19	健康問題	768	計	2,033件

4 総合教育センター特別支援教育班への特別支援教育相談

障害のある（疑いも含む）乳幼児、児童生徒の保護者や関係者に対して、養育や生活、就学や学習、進路などに関するさまざまな問題や悩み、また、障害に係る医療に関することについて、特別支援教育相談を実施した。

（１）特別支援教育相談＜特別支援教育班員への相談＞統計
（令和６年３月末現在）

① 相談区分別相談総数

区 分	相談回数・相談件数	備 考
電話相談	74回（62件）	○ 来所相談回数は来所のみ の相談で、受理面接等の電話 による相談はカウントなし
来所相談	5回（4件）	
訪問相談	13回（10件）	
合 計	92回（76件）	○ 電話相談件数は電話のみ の相談である

② 相談主訴別相談件数・回数

相談 主訴 区分	養 育	障 害 ・ 発 達 の 状 況	就 園 ・ 就 学 ・ 転 校	学 校 教 育	早 期 教 育	進 路	視 ・ 聴 ・ 心 理 検 査	言 語 機 能 訓 練	学 習 指 導 法	そ の 他	合 計	備 考
相談件数	6	4	7	16	0	3	0	0	14	26	76	各内訳は情報 提供、連携も 含む
相談回数	6	4	7	28	0	3	0	0	16	28	92	

③ 年齢・学校等別相談件数・回数

年齢等 区分	乳児・幼児		小 学 生	中 学 生	高 校 生	18歳 以上	そ の 他 ・ 不 明	合 計	備 考
	0 ～ 3 歳	4 ～ 6 歳							
相談件数	0	6	27	20	13	1	9	76	他機関からの 問い合わせ等 はその他でカ ウント
相談回数	0	6	31	27	18	1	9	92	

④ 他機関との連絡・連携（紹介を含む）総数

機関名 区分	病院	療育施設等	市町村役所	福祉保健所	児童相談所	地域支援センター	県教育委員会	市町村教育委員会	大学	学校（幼小中高特保）	障害者職業センター	企業等	その他	合計	備考
相談件数	1	0	0	0	0	0	2	1	0	4	0	0	6	14	
相談回数	1	0	0	0	0	0	3	1	0	4	0	0	8	17	

⑤ 障害別相談件数・回数

障害内訳 区分	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	言語障害	情緒障害	発達障害	発達障害疑い	不明	合計	備考
相談件数	4	1	8	0	0	0	10	16	24	13	76	重度重複は主障害でカウントする
相談回数	4	1	10	0	0	0	12	22	30	13	92	

（２）特別支援教育相談＜特別支援学校への相談＞統計

① 相談区分相談総数

区分	相談件数	相談回数	備考
電話相談	6,845	2,858	電話のみによる相談
来校相談		4,158	相談者が相談員の勤務校に来て行う相談
訪問相談		1,541	相談員が依頼文書を受けてその場所に出向いて行う相談
合計		8,557	

② 相談主訴別相談件数・回数

相談主訴 区分	養育	障害・発達の状態	就園・就学・転校	学校教育	早期教育	進路	視・聴・心理検査	学校見学	体験入学	児童生徒への指導	校内研修への参加	コンサルテーション	実践研究	その他	合計
相談件数	140	426	1,270	246	173	1,111	64	354	355	345	22	476	5	1,858	6,845
相談回数	201	664	1,485	315	377	1,184	69	438	370	443	27	551	13	2,420	8,557

③ 相談対象年齢・学校等別相談件数・回数

年齢等 区分	乳児・幼児		小学生	中学生	高校生	18歳以上	その他・不明	合計	備考
	0～3歳	4～6歳							
相談件数	163	837	1,884	1,940	1,117	230	674	6,845	他機関からの問い合わせ等はその他でカウント
相談回数	362	971	2,361	2,338	1,500	252	773	8,557	

特別支援教育相談<地域教育相談員による相談>統計は、平成19年度特別支援教育がスタートしたことにより統計方法を、以下のように変更した。そのため、平成18年度以前と大きく変わっている。

※令和元年度から：「障害児教育相談」から「特別支援教育相談」へ名称変更
「障害児就学相談員」から「地域教育相談員」へ名称変更

※令和5年度から：「地域教育相談員」の名称を廃止
(相談対応は各特別支援学校で継続)

ア 特別支援学校で対応した地域からの特別支援教育に関する教育相談及び特別支援学校内の教育相談状況の把握である。

イ 特別支援学校内の相談については、他機関とのケース会議等を実施したものをカウントしている。